

定年後のより所は図書館と公民館

稲葉 寛

一時2千冊ほどたまった蔵書(ほとんど文庫と新書)は縁あって二つの慈善団体へ寄贈した。それまでほとんど行くことの無かった図書館へ通いだしたのはその時からである。今更本を買い揃えるのも業腹だし、その余裕も無い。なんと言っても図書館はタダで本が借りられる。いささか汚れているのは気になるが、ひと読みした後手を洗えば済む話だ。それに年のせいか読書傾向は歴史物に偏ってきた。明野図書館の書棚にいくらでもある。

先ず司馬遼太郎から手をつけた。流れるような文章で読むものをひきつける魅力は「竜馬が行く」で経験している。ほぼ半年で読了した。次は宮城谷昌光。中国物で難解な漢字には閉口するが、広辞苑と漢語辞典で対処した。陳舜臣も併読した。約一年かけて全部読んだ。ついでに宮城谷版「三国志」7巻を買って、二読後図書館へ寄贈した。次に吉村昭。砂粒を並べていくような詳細な文章で最初は難儀したが、なれてくれば時間つぶしには格好の小説。埋もれた歴史の影を解き明かす手法には感嘆させられる。そして今は藤沢周平。

まだ二冊目だが、よく「藤沢周平の世界」といわれる雰囲気これからしばらくの間味わうこととなる。異論はあろうが、私にとって読書は最も暇つぶしに役立つ趣味。この趣味からは今後も離れられそうに無い。

趣味といえば、定年後ははじめたものが三つある。小筆、オカリナ、フォークギター。何れも明野公民館講座でスタートし講座終了後、月2回の自主練習を続けている。小筆は4年目、オカリナは3年目、ギターは2年目。特にメンバー9人のオカリナは「紫峰オカリーナクラブ」の名称で明野文化祭に毎回出演、福祉協議会の登録ボランティアとして老人ホームや各種イベントでの公演も年に4,5回こなしている。

今64歳。来年4月には制度上高齢者の仲間入りである。いささか寂しい気もするが日常生活で“老い”を感じることは無い。週に一度は、愛用のロードバイクを駆って小貝川堤防を100kmはしる。ファッションは黒いライダーパンツに真黄のジャージ。女房殿曰く、顔と腹を見なければ立派な若者！。

現役引退に際して開放感を満喫する人、悲壮感を漂わせる人、それに相変わらず仕事に執着する人の三様があるようだ。自分で言うのはいささか憚れるが、私は前者つまり開放感を心から実感した部類の典型ではないかと思っている。

(いなば・ひろし / 筑西市在住)

12月の予定



おはなし会 午後2時から 児童室にて

12月13日(日)
ねずみのすもう
ハモのクリスマス

12月20日(日)
かもとりごんべえ
We Wish You a Merry Christmas

映画会

おはなし会終了後
視聴覚室にて

12月20日(日)

「オズの魔法使い」

ブックスタートクラブクリスマス会

「更生保護女性会明野支部」および「ブックスタート支援の会」の方と、クリスマス会を行います。

日時: 12月9日(水) 午前10時~正午まで

会場: 明野図書館 視聴覚室

内容: 劇、ゲーム、紙芝居 ほか



明野図書館休館のお知らせ

11月16日(月)から30日(月)まで蔵書点検のため休館となります。利用者の方には、ご迷惑をおかけしますがご協力ください。なお、休館中に資料を返却される方は、図書館入り口の返却ポストをご利用ください。

図書館カレンダー

12月 DEC							1月 JAN						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24/31	25	26	27	28	29	30

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

は休みです。

12/23 は祝日ですが開館いたします